

あなたの街の身近な緑を、地図にしてみませんか？
2つの例をご紹介します。

グリーンマップ



グリーンマップは、自分たちの住んでいる都市の環境に良いもの、悪いものを地域の住民と調査しながら、世界共通のアイコン(絵文字)を使って地図に表す環境マップです。

現在世界中で55ヶ国700以上の都市が参加し、国際的なネットワークができています。

出典：グリーンマップジャパンホームページ

豆知識

グリーンマップ グローバルアイコン

グリーンマップアイコンは地域の環境を確認し、よりよいものに変え、情報交換をしていくための重要なツールです。アイコンは視覚言語ですから、言葉を超えて情報交換することができます。

グリーンマップアイコンは169個あり、12のカテゴリーに分類されており、大別して、持続可能な生活・自然・文化と社会がテーマとなっています。

緑の分布図



現地調査により、一定の高さを超える樹木で、通りから目視できるものを地図にします。



出典：横浜・山手地区まちづくりプラン

コラム

こうして、緑を守っています

緑のパトロールを行い、緑の分布図を作成しています。また、景観木の保全を地権者や開発事業者に働きかけていきます。

生垣やゲートツリーにより、道路に面した部分の緑を増やしていきます。

擁壁や塀の緑化をまちづくり協定に盛り込み、まちの緑化をすすめていきます。

